

回答書

(工事名) 平尾台 3 号橋 (直方行橋線) 橋梁補修補強工事 (7 - 1)

番号	質 問	回 答
1	・ A2 橋台の足場参考図がありません。どのような施工方法での設計でしょうか。	現地条件より地上作業を想定しています。
2	・足場構造の設計は取付ブラケットを積載しても問題にないとしてよろしいでしょうか。	床版補強工における足場を採用しています。
3	・足場施工の作業車等が設計にありません。どのように施工方法での設計でしょうか。また、作業車等が必要な場合は設計変更でよろしいでしょうか。	床版補強工における足場を採用しています。仮設方法は任意です。 設計変更については、本市設計変更ガイドラインによります。
4	・構造物補修工の施工が作業車となっています。足場上での施工等は日あたり施工が異なります。設計に反映されていますか。	回答番号 7 の通りです。
5	・吊足場の吊元が設計に含まれていません。どのような施工方法での設計でしょうか。	床版補強工における足場を採用しています。 吊元については協議対象とします。
6	・構造物補修工(橋脚部)と橋梁補修工では足場の設計高さが異なります。 設計数量 154 m ² の内訳をご教授願います。	図面の通りです。
7	・構造物補修工の施工範囲が一部吊足場内にあります。高所作業車の日あたり使用はどのような区別で設計されていますか。日あたり使用数量をご教示願います。	3 区分の施工を想定しており、①吊足場内、②地上から施工可能な範囲、③それ以外は橋梁点検車による施工としています。 なお、これらの区分での積算上の日当たり作業量は同一となります。
8	・交通誘導員についてどのように配置するよう設計されていますか。 足場組立解体、ブラケット搬入取付の施工日数に対して足りないと思われますが、設計変更はできますか。	橋面規制時に、交通誘導警備員 A : 1 名、交通誘導警備員 B : 1 名です。特記仕様書に記載の通り複数班施工を想定しており、規制の前後に各 1 名を配置することを想定しています。 設計変更については、本市設計変更ガイドラインによります。
9	・現場の道路には歩道がありませんので車道を利用しての移動となりますが、交通誘導員の配置はどのようにお考えですか。	回答番号 8 の通りです。